

家庭保存版

家庭学習の手引き

標茶町立標茶小学校



1 はじめに

小学校段階の学習では、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「**基礎的・基本的な知識及び技能**」を蓄え、「**思考力、判断力、表現力等**」を鍛えるとともに、「**主体的に学ぶ力**」を育みます。学校でもそれらが身に付くよう日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、その成果を何倍にも高めることができます。

保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、子ども達のために、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2 家庭学習で身につく力

基礎的・基本的な知識及び技能が身につく

- ・教科書に出ているような文章をすらすら読むこと
- ・学年ごとの漢字を読んだり書いたりすること
- ・教科書に出ているような算数の問題を解くこと
- ・理科や社会の教科書に出ている内容を理解すること

思考力、判断力、表現力等が身につく

- ・教科書や辞典、図鑑などで調べ学習をすること
- ・大切なことをノートにわかりやすくまとめること
- ・学習したことを日常生活で活用すること
- ・学習したことのふりかえり（感想・考えたことを書く
学んだことの意味を書く）をすること など

主体的に学ぶ力が身につく

- ・「気になる!」、「知りたい!」と興味をもって追究すること
- ・「なぜだろう?」と疑問に思ったことを追究すること
- ・「得意分野」を伸ばそうとすること
- ・「苦手分野」を克服しようとするなど

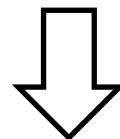
主に
宿題
を通して

+

主に
自学
を通して

||

家庭学習



自立に必要な「自分をコントロールする力」が身につく

- ・集中力 ・目標を持つ力 ・継続力 ・責任感 ・計画性 ・我慢強さ
- ・時間を有効に使う力（勉強や読書・運動・手伝いに使う時間を、テレビやゲームに費やす時間より多く）

〇毎日決まった時間や決まったタイミングで自学ノートを開くには、時間と自分がすべき行動を照らし合わせなければなりません。低学年のうちからそれを意識するのとししないのでは、学年が進むにつれて時間管理能力に差が生じるでしょう。

〇1日24時間というのは、万人に共通です。この平等に与えられた時間の中で、「いかに効率よく時間を使うか」という意識が小学生のうちに身についてしまえば、中学校、高校、大学と進んでも大いに役立つはず。…（中略）…そしてそれは、大人になっても役立つ一生の財産となります。時間の使い方は、一日にこなせる仕事の量やプライベートタイムの過ごし方にも影響します。

「秋田県式家庭学習ノート」（主婦の友社）より

3 学校と家庭の役割

キーワード
子どもを共に育てる

学校 が心がけること **家庭** が心がけること

- ・わかりやすく、学びがいのある授業づくり
- ・直近、またはしばらく前の学習内容を復習できる宿題の提供
- ・子どものよさを生かした家庭学習（自学）の提案

連携

- ・生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境づくり
- ・頑張りを認めたり、はげましたりするなど、温かい対話
- ・可能な範囲でのアドバイス
- ・低学年では、自学の際の「答え合わせ」※

※子ども自身が行う「答え合わせ」・・・中学年・高学年（3～6年生）

○ 子どもたちにとって、「答え合わせ」は「正解・不正解」を確かめるだけの活動と思われるがちですが、実際は、学習内容の理解に関わる重要なものといえます。

⇒「不正解」だった問題については、「どこが間違っているのか」、「どうして間違えてしまったのか」を丁寧に探ることにより、「自分の理解度」を把握できます。また、「苦手なところの克服（もう一度考える・練習をする）」をすることによって、「確かな定着」へとつながっていきます。

⇒このプロセスを忠実に実行できれば・・・

「答え合わせを通して、学習内容の確実な定着につなげる」ことができるといえます。

4 家庭学習の習慣づけのために

よりよい習慣づけのための **3つのポイント**

- ①学習する時間を決めて、毎日同じ時間に！
- ②テレビやスマホ等から離れて、集中力アップを！
- ③きれいな机、よい姿勢で！

自学ノートは、
10mmマスノート
を用意してください。

5 学年別に期待する姿

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
目 標	基本的な学習習慣を身につける	自ら取り組んだ学習を振り返り、次へ生かす	予定を立て、自ら学習をデザインする
時 間	1年生 20分以上 2年生 30分以上	3年生 40分以上 4年生 50分以上	5年生 60分以上 6年生 70分以上
内 容	○宿題ができる ○宿題以外にも、少しずつ自学ができる ○少しずつ自分で答え合わせができる	○宿題が確実にできる ○興味・関心、必要感に基づいた自学に取り組むことができる ○自分で答え合わせができる また、やり直しができる	○宿題はもちろん、計画的に自学に取り組むことができる ○課題意識・必要感に基づいた自学ができる ○答え合わせと間違いの分析、やり直しができる

低

学年

基本的な学習習慣を身につける1・2年生

1年生：20分以上 2年生：30分以上

育ちの
このころの
様子

- 一人で学習の内容を決めるのはまだ無理難しく、家庭の手助けが必要です。
- 「がんばったね!」、「よくできたね!」などのほめ言葉が、やる気を生み出します。
- いろんなことに興味を持ち、何でも知りたがりです。

- 1
- ひらがな、カタカナを読む・書く
 - 語のまとまりに気をつけて、音読する
 - 「てにをは」を使い分けて、文章を書く
 - 100までの数を数えたり表したりする
 - 簡単な2けたのたし算、ひき算をする
 - 時計の時刻を読む
 - 鉛筆を正しく持って、正しい姿勢で書く
など

- 2
- 160字程度の漢字の読み書きをする
 - 順序良く話をする
 - 筆算を使って計算する（定規を使う）
 - 2けたのたし算・ひき算をする
 - 簡単な3けたのたし算・ひき算をする
 - 九九をすらすら言う
 - 決められた長さの直線を正しく引く
など

学校での
学習は?

基本的な生活の習慣を身につける

「早寝・早起き」、「しっかりと朝食をとる」、「朝の排便」、「正しい姿勢で座る」、「鉛筆を正しく持つ」、「机の上を整頓する」、「テレビやゲームの時間を守る」などの基本的な生活習慣を身に付けることが、これからの学習の土台となります。



愛情のこもったコミュニケーションを

小学校1・2年生の家庭学習には、家族の手助けが欠かせません。その際、「よくできたね!」などのほめ言葉、「よくがんばったじゃない!」などの努力を認める温かい言葉が前向きな意欲を生み出します。学習習慣定着のためには、愛情のこもったコミュニケーションで、粘り強く働きかけていくが大切です。

家庭に学ぶの環境を

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。例えば、子どもにあった本を周りに置く、読み聞かせをする、などは効果的です。

中 学 年

学習を振り返り、次へ生かす3・4年生

3年生：40分以上 4年生：50分以上

育ちの
このころの
様子

- 自立心が芽生え、「自分でやろう」とすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口ごたえや反抗が少しずつみられるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

- 3
- 200字程度の漢字の読み書きをする
 - ローマ字を読んだり書いたりする
 - 国語辞典を使う
 - 4けたまでのたし算ひき算をする
 - 2～3けたのかけ算の筆算をする
 - わり算をする
 - はかりを使って重さを読む
 - 標茶町について大まかに学ぶ
 - 乾電池や磁石、鏡を使って実験をする
など

- 4
- 200字程度の漢字の読み書きをする
 - 漢和辞典を使う
 - 小数のかけ算・わり算をする
 - 同分母分数のたし算・ひき算をする
 - コンパスを使って簡単な図形をかく
 - 分度器を使う
 - 地図帳を使って場所や地名を調べる
 - 都道府県の名前や位置を覚える
 - 金属や水、空気の性質や電気の働きを知る
など

学校での学習は？

自分でできることは自分で

好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていく事が大切です。だからと言って、まかせっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気を起こさせるうえでとても重要です。

規則正しい生活の再確認と見直しを

時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自立心や学習への集中力を高めることにつながってきます。特に、テレビやゲームなどの時間を家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。

意欲を引き出す言葉かけを

学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友達やきょうだいと比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見逃さないようにして、ほめたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要になります。

高 学年

予定を立て、自ら学習をデザインする5・6年生

5年生：60分以上 6年生：70分以上

育ちの
この
様子

- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られるようになります。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家庭のアドバイスによって、学習に対する興味・関心が大きく左右されます。

5

- 185字程度の漢字の読み書きをする
- 習った漢字を使って熟語を書く
- 異分母分数のたし算・ひき算をする
- 割合・百分率を使った問題を解く
- 単位量当たりの大きさを知る
- 日本の産業の特徴を知る
- 人や植物の成長、天気の変化、動きの規則性や水溶液、電磁石について知る
- アルファベットの大文字や小文字を正しく書き写す など

6

- 小学校で習った漢字の読み書きをする
- 習った漢字を使って熟語を書く
- 分数の加減乗除を行う
- 歴史上の人物や事件について説明する
- 「三権分立」など、公民的な社会用語の説明をする
- 世界の主な国々の名前と位置を知る
- 水溶液、金属や水、空気や電気の働き、また、人の体のつくりを知る
- 英文をバランスよく書き写す など

学校での
学習は？

予定を立て、計画的な学習を

学校での役割、また、地域の少年団などの練習が本格化する子もいて、休み時間も放課後も慌ただしくなります。充実した日々を過ごすため、その日の予定を立てて、見通しを持って学習しましょう。必ず、学習する時間帯を決めましょう。

忙しくなった今、基本的な生活習慣の見直しを

生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身につきます。「起きる時刻」、「食事の時刻」、「寝る時刻」などを決めて生活しましょう。テレビやゲーム、パソコンなどの時間が長くなり過ぎて、家庭学習ができない、睡眠時間が確保できないということのないようにしましょう。ここで身に付いた学習習慣は、中学校でも必ず役立ちます。

目標に向かって努力することの大切さを

将来の夢や希望、勉強する目的や学校での様子、失敗談などを、家庭で話し合い、目標を持って努力することの大切さについて考えてみましょう。学習の個人差がさらに大きくなってくる時期ではありますが、「自分がどれだけ頑張ったのか」が大切な点なのです。伝記（偉人伝）などを読んで、人の生き方に関心を持つのもいいかもしれません。

家庭学習計画・ふりかえりシートの書き方

3年生～6年生は、「家庭学習計画・ふりかえりシート」を使用します。これは、家庭学習に取り組む前に、自分の目標や課題をもって取り組んだり、自分の学習を振り返って、次の家庭学習に進んでいけるようにするものです。

はじめは「紙バージョン」を使用しますが、「デジタルバージョン」を使用することもできます。

書き方の例

【紙バージョン】

家庭学習計画シート				家庭学習ふりかえりシート			
●年●組(●●●●●●)				●年●組(●●●●●●)			
月日 曜日	テスト予定・ 自分の予定など	今日の目標	自学で取り組んだ こと	宿題時間	自学時間	ふりかえり	自己評価 ◎○△
5月10日 月曜日	さん数テスト	かん字テストで百点をとれるように、何度も書いておぼえる。	読み、書きれん習	10分	25分	同じ読みでも違う漢字があって、本番で間違えそうだから、回数を多く書いた。	◎
5月11日 火曜日	かん字テスト	さん数のわからないところをはっきりさせる。	テスト直し	10分	25分	テストで間ちがえていたわり算をやり直したら、立てる位の間ちがえていることが分かったから気をつけたい。	◎
5月12日 水曜日		理科のじっけんでわかったことをはっきりさせる。	ノートにまとめる	10分	30分	日の当たるところと当たらないところで地めの温度がちがったから、太陽はすごいなと思った。	○

【デジタルバージョン】

9月 家庭学習計画・ふりかえりシート (●)年 (●)組 氏名(●●●●)																												
今日の目標	☐ テスト勉強や苦手なところの勉強を、計画的に行う ☐ 平日1ページ、休日2ページがんばる																											
一日ごとの学習時間	<table border="1"> <caption>一日ごとの学習時間 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>宿題時間 (分)</th> <th>自学時間 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>0:30</td> <td>0:40</td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>0:20</td> <td>0:40</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>0:40</td> <td>0:20</td> </tr> </tbody> </table>					曜日	宿題時間 (分)	自学時間 (分)	月	0:30	0:40	火	0:20	0:40	水	0:40	0:20	<table border="1"> <caption>宿題時間と自学時間の割合 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>時間 (分)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿題時間</td> <td>2:40</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>自学時間</td> <td>3:30</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>		種類	時間 (分)	割合 (%)	宿題時間	2:40	30%	自学時間	3:30	70%
曜日	宿題時間 (分)	自学時間 (分)																										
月	0:30	0:40																										
火	0:20	0:40																										
水	0:40	0:20																										
種類	時間 (分)	割合 (%)																										
宿題時間	2:40	30%																										
自学時間	3:30	70%																										
日曜日	テスト予定・自分の予定など	今日の目標	自学で取り組んだこと	宿題時間	自学時間	合計時間	ふりかえり	評価																				
2月	なし	漢字テストで合格できるように練習する	漢字を何度もノートに書いた	0:30	0:40	1:10	本番で間違えそうだった漢字を何度も書いたからテストも大丈夫だと思う	◎ -																				
3火	漢字テスト	算数のテストで100点をとれるように復習する	拡大図や縮小図をかき練習をした	0:20	0:40	1:00	辺の長さを2倍にしたときでも、角の大きさは2倍しないように気を付けた	◎ -																				
4水	算数テスト	チャレンジテストに向けて理科の復習をする	物の燃え方、気体による燃え方の違いについてノートにまとめた	0:40	0:20	1:00	これでしっかり覚えられたと思う。	◎ -																				
合計				2:40	3:30	6:10																						
今週のふりかえり				来週の目標																								
☐ テストに向けての勉強、苦手なところの勉強ができたので、自信をもってテストを受けることができた。 ☐ ●●さんの自学ノートを見たら、まとめ方が上手だったのでまねしたい。				☐ 算数の問題で間ちがえたところを自学ノートにもう一度やり直して、苦手を克服していく。 ☐ ●●さんのように、自学ノートに上手にまとめていく。																								

1年生のかてい学しゅう

○しゅう中して 学しゅう しましょう(20分 いじょう)

○しゅくだいは かならず しましょう

○「じ学」は できるひとは すこしずつ してみましょう

はじめに

○学校からの お手がみは おうちの人に わたしましたか(おきましたか)

○学しゅう するばしょは かたづいていますか

○しせいや えんぴつのもちかたは 正しいですか

○まずは 「しゅくだい」に しっかり とりくみましょう

○しゅくだいや 「じ学」ノートに きょうの 日づけを かきます

○「じ学」ノートに 学しゅうの めあて(「ひらがなのれんしゅう」など)をかきます

★★★★たとえば★★★★

こくご	○文字のれんしゅう(ひらがな・カタカナ・かん字) ・おうちの人がつくった もんだいに とりくむ ・かたちを よく見て ていねいに ・「とめる」「はらう」「はねる」に 気をつける ○本を よんだ かんそう や にっき を かく ・おもしろかった ところを かく ・したこと や 見たこと 気持ちを かく ○音どく ・大きく はっきり すらすら 気持ち
さんすう	○もんだいにちょうせん ・おうちの人がつくった もんだいに とりくむ ・きょうかしょの もんだいに もう一ど とりくむ
そのほか	○なわとび てつぼう どくしょ けんぱんハーモニカ ○がいこくごの アルファベットを かく ○クロームブックで できる学しゅう など

おわりに

○つくえの上を かたづけて しゅくだいや じ学ノートを おうちの人に 見せましょう

○じかんわりを たしかめて あすの じゅんびを しましょう

(じがんわり・もちもの・えんぴつをけずる)

2年生の 家でい学しゅう

○しゅう中して 学しゅう しましょう(30分 い上)

○しゅくだいは かならずやって 「自学」も できるようになろう

はじめに

○学校からの お手紙は おうちの人に わたしましたか(おきましたか)

○学しゅうする 場しょは かたづいていますか

○しせいや えんぴつのもち方は 正しいですか

○まずは 「しゅくだい」に しっかり とり組みましょう

○しゅくだいや 「自学」ノートに 今日の 日づけを かきます

○「自学」ノートに 学しゅうの めあて(「ひらがなのれんしゅう」など)をかきます

★★★たとえば★★★

国語	○文字のれんしゅう(かん字・その他) ・おうちのひとが つくった もんだいに とりくむ ・自分で もんだいを 作ってみるのも いいね ・「とめる」「はらう」「はねる」に 気をつける ・教科書の 文を うつして書く ○ことばのいみしらべ ・じてんなどをつかって あたらしいことばを 知る ○本を 読んだ かんそう や 日記 を 書く ・おもしろかった ところを 書く ・したこと や 見たこと 気持ちを くわしく 書く ・考えたことを 書く ○音読 ・大きく はっきり すらすら 気持ち
算数	○もんだいにちょうせん ・おうちの人 が 作った もんだいに とりくむ ・教科書の もんだいに もう一ど とりくむ
そのほか	○なわとび てつぼう 読書 けんばんハーモニカ ○がい国ごの アルファベットを かく ○クロームブックで できる学習 など

○答えがあれば 自分で ○つけができるようになりましょう

○間ちがえたもんだいや 分からないもんだいは おうちの人にヒントをもらって もう一ど とりくみましょう

○つくえの上を かたづけて しゅくだいや 自学ノートを おうちの人に 見せましょう

○時間わりを たしかめて 明日の じゅんびを しましょう

(時間わり・もちもの・えんぴつをけする)

「自学」を やつなてみる

おわりに

3年生の 家庭学習

○集中して、学習しましょう（40分以上）

○宿だいのあとは、「自学」にも進んでとり組もう

はじめに

- 学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか（おきましたか）
- 学習する場所は、かたづいていますか
- しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか
- まずは、「宿だい」にしっかり取り組みましょう

○「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、今日の予定と目ひょうを書きます

★★★たとえば★★★

国語	○文字のれんしゅう（漢字・ローマ字・その他） ・じゅく語や短文の中で、漢字をれん習する ・教科書の文をうつして書く ・「とめる」「はらう」「はねる」に気をつける ○言葉の意味調べ ・じ書などを使って、言葉の意味を調べる ○本を読んだ感そうや日記を書く ・おすすめの理由を書く ・したことや見たこと気持ちをくわしく書く ・考えたことを書く
算数	○問だいにちょうせん ・教科書の問だいなどに、もう一度取り組む ・苦手な問だいやちょうせんしたい問だいに取り組む
理科 社会	○好きなところ・大じなところのまとめ ・教科書やノートなどから図や言葉などをまねしながら写したりまとめたりする ○気になることをさらに調べる ・百科じてんや図かんで調べてまとめてみる
その他	○楽器の練習（音楽） 技の練習（体育） ○外国語のアルファベットや単語を書く ○クロームブックでできる学習 など

おわりに

- 答えがあれば、自分で○つけができるようになりましょう
- 間ちがえた問だいがあれば、もう一度その問だいに取り組みましょう
- 「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、取り組んだこと・宿だい時間・自学時間・ふりかえり・自こひょうかを書きます

- つくえの上をかたづけて、自学ノートをおうちの人に見せましょう
- 時間わりをたしかめて、明日のじゅんぴをしましょう
(時間わり・持ち物・えんぴつをけずる)

4年生の 家庭学習

○集中して学習しましょう（50分以上）

○宿題の後は、「自学」にも進んで取り組もう

はじめに

- 学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか（おきましたか）
- 学習する場所は、かたづいていますか
- しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか
- まずは、「宿題」にしっかりと取り組みましょう

○「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、今日の予定と目標を書きます

★★★たとえば★★★

国語	○文字の練習（漢字・ローマ字・その他） ・じゅく語や短文の中で、学習した漢字を練習する ・視写する ○言葉の意味調べ ・辞書などを使って、言葉の意味を調べる ○おススメの本の理由や日記を書く ・思ったこと・考えたこと・理由	宿題やテストの間ちがえた問題にもう一度取り組む・ふく習
算数	○問題にちょうせん ・教科書の問題などに、もう一度取り組む ・苦手な問だいやちょうせんしたい問題に取り組む	
理科 社会	○好きなところ・大じなところのまとめ ・教科書やノートなどから図や言葉などをまねしながら写したり、まとめたりする ○気になることをさらに調べる ・百科辞てんや図かんで、調べてまとめる ○覚えるための練習をする ・都道府県 しんこう局 地図記号 理科の用語	
その他	○楽器の練習（音楽） 技の練習（体育） ○外国語のアルファベットの練習 ○けん定のために、ドリルに取り組む ○クロームブックでできる学習 など	

※キャラクターなどに、ポイントを「かいせつ」させるのもいいでしょう。

- 答えがあれば、自分で○つけができるようになりましょう
- 間ちがえた問だいがあれば、もう一度、その問だいに取り組みましょう
- 「家庭学習計画ふりかえりシート」に、取り組んだこと・宿だい時間・自学時間・ふりかえり・自こひょうかを書きます

- つくえの上をかたづけて、自学ノートをおうちの人に見せましょう
- 時間わりをたしかめて、明日のじゅんぴをしましょう
(時間わり・持ち物・えんぴつをけずる)

「かんたん「自学」を」

おわりに

5年生の 家庭学習

○集中して学習しましょう（60分以上）

○宿題の後は、「自学」にも計画的に取り組もう

はじめに

- 学校からの お手紙は おうちの人に わたしましたか（おきましたか）
- 学習する場所は 片付いていますか
- まずは 「宿題」に しっかり 取り組みましょう

○「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、今日の予定と目標を書きます

★★まず、以下のゆう先順位で取り組もう★★

- ①テスト・宿題の「間ちがえた問題」にもう一度取り組む
- ②近くにあるテストに向けた「テスト勉強」をする
- ③今日や、少し前に習ったことの復習をする

★★たとえば…★★

国語	○漢字の練習（熟語や短文で、何度も） ○語句の意味調べ ○読んだ本の感想やおすすめする文章を書く ○日記や詩、創作文を書く（表現方法を工夫して）	宿題やテストの間ちがえた問題にもう一度取り組む テスト勉強・復習
算数	○教科書などの問題を解く ○計算や考え方のポイントをまとめる	
理科	○行なった実験のやり方、その結果、そして考さつ（まとめ）をもう一度まとめる ○観察したことを図と言葉でまとめる	
社会	○国土や気こうの様子、農業・水産業・工業・情報産業の特ちょうを図や言葉でまとめる ○産業に携わる人の工夫や苦労をまとめる	
その他	○楽器の練習（音楽） 技の練習（体育） 料理やぬい物など（家庭科で学習したことをやってみる） ○外国語のアルファベットや英単語を正しく書き写す ○けん定のためにドリルに取り組む ○クロームブックでできる学習 など	

※キャラクターなどに、ポイントを「解説」させるのもいいでしょう。

- 答えがあれば、自分で○つけをしましょう
- 間ちがえた問題があれば、その「わけ」を考え、もう一度その問題に取り組みましょう
- 「家庭学習計画ふりかえりシート」に、取り組んだこと・宿だい時間・自学時間・ふりかえり・自己ひょうかを書きます

おわりに

- つくえの上を片づけて、自学ノートをおうちの人に見せましょう
- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう

6年生の 家庭学習

○集中して学習しましょう（70分以上）

○宿題の後は、「自学」にも計画的に取り組もう

はじめに

- 学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか（おきましたか）
- 学習する場所は、片付いていますか
- まずは、「宿題」にしっかり取り組みましょう

○「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、今日の予定と目標を書きます

★★自分で優先順位を判断して取り組もう★★

- テスト・宿題の「間ちがえた問題」にもう一度取り組む
- 近くにあるテストに向けた「テスト勉強」をする
- 今日や、少し前に習ったことの復習をする

★★たとえば…★★

国語	○漢字の練習（熟語や短文で、何度も） ○語句の意味調べ ○読んだ本の感想やおすすめする文章を書く ○日記や詩、創作文を書く（効果的な表現方法で）	宿題やテストの間ちがえた問題にもう一度取り組む テスト勉強・復習
算数	○教科書などの問題を解く ○計算や考え方のポイントをまとめる	
理科	○行なった実験のやり方、その結果、そして考さつ（まとめ）をもう一度まとめる ○観察したことを図と言葉でまとめる	
社会	○歴史上の大まかなできごとについて、原因や結果、関係した人物をふくめてまとめる ○私たちのくらしを成り立たせる仕組みについて、まとめる	
その他	○楽器の練習（音楽） 技の練習（体育） 料理やぬい物など（家庭科で学習したことをやってみる） ○外国語のアルファベットの練習 ○けん定のために、ドリルに取り組む ○クロームブックでできる学習 など	

※キャラクターなどに、ポイントを「解説」させるのもいいでしょう。

- 答えがあれば、自分で○つけをしましょう
- 間ちがえた問題があれば、その「わけ」を考え、もう一度その問題に取り組みましょう
- 「家庭学習計画・ふりかえりシート」に、取り組んだこと・宿だい時間・自学時間・ふりかえり・自己ひょうかを書きます

- つくえの上を片づけて、自学ノートをおうちの人に見せましょう
- 時間割を確かめて、明日の準備をしましょう

「かんたんな「自学」を

おわりに

[illegible]



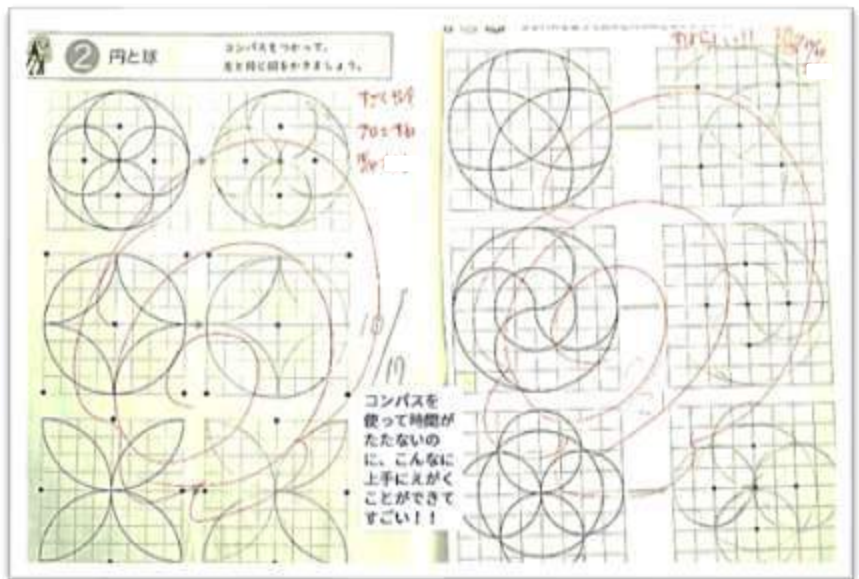
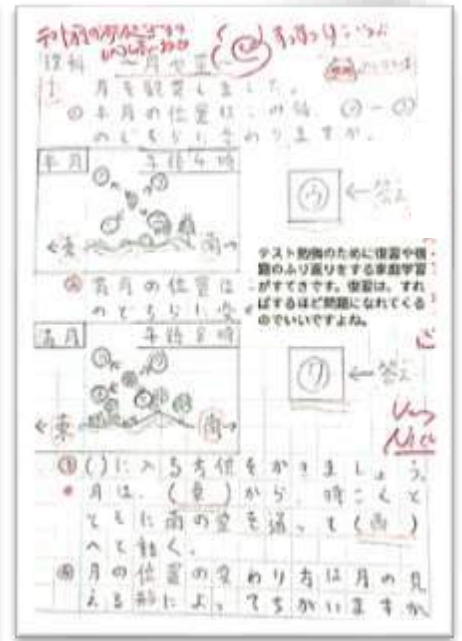
3・4年生の自学ノート



Handwritten notes and a drawing of a cat.

写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局
写庫	始	笛	決	号	局

おうちでがんばったことを文に書けました

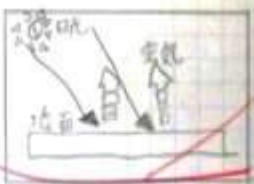


[illegible]

dentist 牙科	fun 玩	patient 患者	package 包裹	sign 标志	trap 陷阱
actor 男演员	husband 丈夫	director 导演	pretend 假装	glasses 眼镜	fin 鳍
wife 妻子	passengers 乘客	heart 心脏	glass 玻璃	clothes 衣服	blanket 毯子
guest 客人	neighbor 邻居	finger 手指	information 信息	mean 意义	future 未来
clerk 职员	manager 经理	customer 顾客	baggage 行李	chance 机会	society 社会
roof 屋顶	second floor 二楼		fast 快	spin 旋转	money 钱
wall 墙	stairs 楼梯	gym 健身房	root 根	promise 承诺	activity 活动
entrance 入口	first floor 一楼		environment 环境	problem 问题	difference 差异
museum 博物馆	theater 剧院		rest 休息	bring 带来	build 建造
college 大学	caterina 卡特里娜		share 分享	join 加入	miss 想念
stadium 体育场	occurs 发生		send 发送	receive 接收	lend 借出
garbage 垃圾	medicine 药	cell phone 手机	break 打破	fix 修理	forget 忘记
stapler 订书机	price 价格	wallet 钱包	remember 记住	save 节省	keep 保持

＜理科の問題＞

太陽の位置と最高気温は関係します。
一日は、日光が地面をあたためた後、あたためられた地面が空気をあたためるからです。



図

夕方になって日が下ると、地面も(空気が)あたためられなくなり、地面も空気をあたためる(空気が)はなくなり、日のおひかりがなくなると、気温が下がります。

かてていがくしゅう

家庭学習でもクロームブックを使ってみよう

たとえば…

がくねん

学年は、めやすです

1年生～

「スマイルドリル」
に取り組んでみよう！



1年生～

カメラを使って
ほうこく
報告しよう！



3年生～

ウェブページで
しら
調べよう！



1年生～

ろくおん
録音して
ほうこく
報告しよう！



4年生～

アンケートをつくって
しら
調べよう！



4年生～

ふせんをつか
ぶんせき
整理・分析しよう！



5年生～

スライドやカードに
まとめてみよう！



5年生～

じぶんまな
自分の学びを
コントロールしよう！



デジタル版

家庭学習計画・ふりかえりシート